



RI会長 ステファニー・アーチツク
2640 地区ガバナー 野村 壮吾

2024-2025年

Rotary District 2640 Japan

創立50周年

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2219 回例会

2025 年 5 月 18 日(日)

兵庫県淡路島 方面
家族例会

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング(省略)

3. ゲスト紹介

米山記念奨学生 喬 暁 璐(キョ シル) 様

4. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 24 名

(ご家族 10 名 米山奨学生 1 名)

出席義務規定適用免除会員 2 名

出席率 52.68% 前回修正出席率 86.84%

5. 会長スピーチ

会長 田岡 郁敏 君

みなさんこんにちは。会員の皆さん、ご家族の皆さん家族会旅行にようこそいらっしやいました。ご家族の皆様におかれましては日頃私たち会員を陰ながら支えていただき、また許容の精神で見守っていただき厚く感謝いたします。



また、今年1月19日に和歌山マリーナシティホテルで開催されました。海南東ロータリークラブの創立50周年記念事業「尾木ママ記念講演」、記念式典に多数ご臨席賜り、ありがとうございました。おかげさまで成功裏に終わることが出来ました。皆様のご協力の賜物だと感謝いたします。

本日の家族会は、岡親睦委員長の取り計らいで淡路島の旅となっております。瓦焼きなど盛りだくさんとなっております。また豪華なバスは今年もエクセルワールドツアー株式会社さんをお願いしております。また今回は米山奨学生のキョ・シルさんにも参加していただいております。キョさんは中国四川省のお生まれです。

今回の家族例会でぜひ会員のみならずほかのご家族の皆様とも交流を深めていただければと思います。それでは今日一日よろしくお願いいたします。

6. 幹事報告

幹事 楠部 均 君

○休会のお知らせ

田辺東 RC 6月11日(水) 25日(水)

7. 家族例会

○親睦活動委員長

岡 洋平 君

本日、家族例会に沢山ご参加いただき有難うございます。バス旅行、体験コースター、お食事などお楽しみいただけましたでしょうか。最後まで、よろしくお願いします。



○乾杯

副会長 前田 克仁 君



ご参加いただき有難うございます。美味しい料理、お酒を召し上がり、楽しんでください。皆さんの健康を祝して乾杯！

○写真



8. 閉会点鐘

次回例会

第 2220 回 2025 年 5 月 26 日(月)12:30~

ゲスト卓話 和歌山県ソフトボール協会

理事長 宮本 和幸 様

5月は「青少年奉仕月間」です



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>E-mail: info@kainaneast-rc.jp

2027 年ロータリー国際大会の ホノルル開催予定が変更

2027 年ロータリー国際大会はホノルル(米国ハワイ州)での開催が予定されていましたが、ハワイコンベンションセンターが施設全体の改修スケジュールの延長を決定したことにより、ホノルルでの開催はなくなりました。ロータリーは現在、国際大会規模のイベントの開催に必要な会場とインフラを備えたほかの都市を新たに探しています。今後の進捗状況については随時、会員に最新情報が提供されます。

ホノルルは 2020 年ロータリー国際大会の開催地に選ばれましたが、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより対面式での開催が中止となりました。現地のロータリー会員とパートナー団体は、ホノルルに国際大会を呼び戻すために熱心に取り組んできました。

今回の決定は残念なものですが、現地の方々のこれまでの多大な努力と献身に心から感謝いたします。

国際大会で楽しみにしていること

カルガリーで開催されるロータリー国際大会に参加予定の会員に「大会で楽しみにしていること」を尋ねたところ、最も回答が多かったのは「プロジェクトパートナーを見つけること」と「RI の活動について学ぶこと」でした。

過去の国際大会で出会った友人との再会や、世界各国から集まる人たちの新たな出会いも上位に入りました。これは、メッセージプラットフォームの WhatsApp でロータリーが新たに開設したチャンネルで行った気軽なアンケートの結果です。カウボーイハットをかぶってみたい、という声も多くあがりました。大都市ながら西部開拓の香りが色濃く残るカルガリーならではの回答です。



Rotary

CALGARY 2025



世界でよいことをしよう



『ロータリーの友』5 月号では、子どもたちのプログラミング支援が特集され、未来を見据えたロータリーの活動が紹介されています。子どもたちの可能性を引き出そうと、クラブ会員が奮闘しています！

お馴染み RI 日本事務局の紹介記事もおススメです。

<https://on.rotary.org/3BtXPQT>



40 万人を超えるポリオ根絶ワーカーたちを支える仕組みとは

「コミュニティヘルスワーカー」という言葉に耳慣れない人は多いでしょう。ましてや、実際に会ったことのある人は少ないはず。しかし、世界の医療システムにおけるその役割(多くはボランティア)の重要性は、ますます高まっています。特にポリオ根絶や疾病予防など、ロータリーの保健の取り組みには欠かせない存在となっています。

コミュニティヘルスワーカーの多くは、地域社会と強いつながりを持つ女性たちです。これらの女性ワーカーは、困難な環境に暮らす人びとに手を差し伸べ、家々を訪問して基本的な医療サポートやアドバイスを提供します。多くの国では、ポリオ予防接種活動の主力メンバーでもあります。

医療人類学者で、ジョンス・ホプキンス大学教授であるスベア・クロッサー氏はこう語ります。「彼女たちは妊婦に基本的な健康チェックを行い、出産の際には病院まで付き添い、出産後も母子の状況を確認して予防接種を促します。ポリオだけでなく、ほかの予防接種のサポートも行っており、ワクチンに対する親の不安を和らげたり、接種会場まで連れて行ったりしています」

パキстанは、いまだに野生型ポリオウイルスが存在する世界で二つの国の一つ(もう一つはアフガニスタン)です。このため、特にパキスタンでは、コミュニティヘルスワーカーによる予防接種活動と啓発活動は極めて重要となっています。

パキスタン全土に 40 万人以上のコミュニティヘルスワーカーが存在し、遠隔地にも派遣されています。その規模は「この国の軍隊に次ぐもの」と言うのは、イスラール・ウル・ハク氏です。ウル・ハク氏は、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)の中心的パートナーの一つ、UNICEF(国連児童基金)の社会・行動変革専門家であり、この国でのポリオ根絶を監督する重要な役割を担っています。